

全仁会ニュース

全仁会グループ 倉敷平成病院 広報誌

2018
早春号
No.90

限りない QUALITY OF LIFE を求めて

社会医療法人全仁会 倉敷市老松町4丁目3-38 倉敷平成病院内 全仁会ニュース編集部 発行責任者／高尾 武男



表紙：「梅と犬」ピースガーデン倉敷 デイサービス リハビリステーション ピースの作品

年頭所感	2
倉敷平成病院創立30周年記念・ 高尾芳樹新院長就任祝賀会開催	2
健康特集 認知症と自動車運転	4
開催報告 第52回 のぞみの会	5
高尾理事長が講演	6
第57回 日本定位・機能神経外科学会参加	6
第30回 神経セミナー開催	7
連載 ヘルシーレシピ	7



日本医療機能評価機構
認定第 JC2072 号
当院は2016年1月
日本機能評価機構の
認定を受けました

平成30年の
のぞみの会は
10月28日(日)
倉敷平成病院
リハビリセンター
にて



社会医療法人 全仁会

倉敷平成病院

ご自由にお持ち帰りください

院長就任ごあいさつ



倉敷平成病院 院長
高尾 芳樹

この度、1月1日をもちまして、平川訓己前院長より院長職を引き継ぎました。当院は昭和63年1月に開院、救急医療分野で平成22年12月に社会医療法人となり、このたび30周年を迎えました。「救急から在宅まで何時いかなる時でも対応します」の理念のもと、患者さんの一日も早い回復を目標に、わかりやすいやさしい医療、質の高いチーム医療を追求しています。

近年、二次医療圏での地域包括ケアシステムの構築が国策として推進されようとする中、私たち全仁会グループはこれに先駆けて、必要とされる施設を完備しています。病院のみならず在宅にも注力し、地域のお役に立ちたいと日々精進しております。

今後も倉敷平成病院を中心に全仁会グループを挙げて今まで以上に病病連携、病診連携、施設連携を密にして、地域連携を強化してまいります。そして地域の皆様に信頼され、皆様の健康を守る病院となりますように努力してまいります。

倉敷平成病院創立30周年記念祝賀会・高尾芳樹新院長就任祝賀会開催

1月13日(土) 倉敷アイビースクエアにて「倉敷平成病院創立30周年記念祝賀会・高尾芳樹新院長就任祝賀会」を行いました。多くのご来賓の方々にご臨席賜り、ご祝辞を頂きました。約500名の参加者とたくさんのプログラムで大変盛り上がりしました。

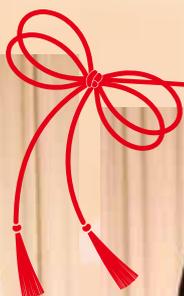
会では高尾聡一郎理事長より「飛躍する全仁会」として平成30年度の経営方針等が提示されました。また、高尾芳樹新院長、平川訓己名誉院長の就任挨拶、上利センター長による記念講演「ニューロモデュレーション療法の新しい展開」が行われました。昨年4月に開設された倉敷ニューロモデュレーションセンターの概要や治療内容、今後の展開などが映像を用いて大変わかりやすく説明されました。

全仁会は多くの人々に支えられ、創立30周年を迎えました。30周年の記念ムービーのタイトルになった「共に生きる」という言葉は高尾理事長の座右の銘でもあり、今後の倉敷平成病院の想いでもあります。人と共に、病気と共に、地域と共に、高尾芳樹新院長指導のもと職員も一人一人レベルアップして、チーム医療で地域医療を実践してまいります。

秘書・広報課



高尾聡一郎理事長より
経営方針等の提示



高尾武男代表挨拶



高尾芳樹新院長就任挨拶

30周年を迎えて



社会医療法人全仁会 理事長
高尾 聡一郎

社会医療法人全仁会倉敷平成病院は昭和63年に開院し、「救急から在宅まで何時いかなる時でも対応します」を理念に掲げ、住み慣れた地域で安心して年を重ねられる社会を目指し、保健・医療・福祉活動を行ってまいりました。

このたび、開設30周年を迎えることができましたのも、地域の方々のご理解、ご支援のおかげと心より感謝申し上げます。

平成29年4月に開設いたしました「倉敷ニューロモデュレーションセンター」では、多職種によるチーム医療で、神経調節療法を実施しています。年間救急車受入件数は、2,200件を超え、益々の増大傾向となっており、この状況に対応すべく、3年後の稼働を目的に、救急棟の建設計画を進めています。

また、30周年を節目として、高尾芳樹が院長に、平川訓己が名誉院長に就任致しました。これからも職員一同、地域の医療機関と連携しながら、患者本位の医療・介護サービスの提供に努めてまいります。

ごあいさつ



全仁会グループ 代表
高尾 武男

平成30年1月、倉敷平成病院は記念すべき30周年を迎えました。

この歩みを振り返ってみますと、ただただ精一杯走り続けてきたこともあり、あっという間に過ぎた月日だったように思います。この間、のぞみの会を始め患者さんご家族の皆さん、地域の方々、連携いただいている医療機関並びに介護施設の関係者など多くの方々からのご支援を賜り、励んでまいることができましたこと心から御礼申し上げます。

また全仁会グループでは、基幹となる病院運営に加え、倉敷老健、倉敷在宅総合ケアセンター、ドリームガーデン倉敷、ローズガーデン倉敷、ピースガーデン倉敷、グランドガーデン南町（サ高住）と一貫した継続医療を提供できるよう、在宅支援機能を拡充してまいりました。今後も当院の原点ともいえる理念「救急から在宅まで何時いかなる時でも対応します」を実践し、さらなる発展を目指したいと考えております。変わらぬご指導・ご支援の程何卒よろしくお願い申し上げます。



上利崇ニューロモデュレーションセンター長
記念講演

いつもの制服に変わり華やかな装いの職員と
ぜっとくんが会場を盛り上げました



茶屋町鬼太鼓の迫力ある演奏





認知症と自動車運転

倉敷平成病院 認知症疾患医療センター長 浦谷 陽介 医師



最近、50歳をすぎたついに私にも「老眼」の波が押し寄せてまいりました。もともと近眼ですし、電子カルテやスマホを見ていてもなんとなく「目がショボショボ」したりします。だからでしょうか、雨の日の暗い道の運転など、なんとなく「怖いなあ」という感覚が以前より強くなって、五感を研ぎ澄ませるような運転になることがあります。家に着くと結構グッタリ。「五感を研ぎ澄ませる」というのは、言い方を変えれば自分に備わった「認知機能」をフル稼働して頑張っているということです。そりゃ疲れます。

視力・視野の低下が自動車運転にとって重大な影響を及ぼすのはすぐに理解できます。しかし、私たちに備わったどんな「認知機能」が自動車運転にとって大切なのかについては、なかなかわかりにくいことです。

私自身が自動車運転にとって一番大切だと思うのは、「現在の自分自身の能力を見極める力」です。自分の能力を客観的に捉え、何が自分の弱点になってきたかをあらかじめ理解して、安全に配慮した行動に移せる力といえいいでしょうか。端的に言えば自動車運転における自己評価です。【表1】

自動車運転をなかなかやめようとされない認知症の方は、この力が衰えている場合も多いように思えます。そんな時によく出てくる表現としては、「もう30年以上無事故無違反だ」「ゴールド免許だから大丈夫」「運転に困るほど老化はしていない」といった言葉です。

初期の場合、認知症があるからといって、すぐに自動車運転に支障をきたすかというもちろんそうではありません。でも、『いつ運転を止めるか』ということをご本人や周りの人たちで真剣に考える時期にさしかかっていることは確かです。

そもそも自動車運転は、記憶力、注意力・集中力、意欲、視空間認知、場所の認知、危険を察知したり推論したりする能力、行動の俊敏性や正確性（察知したことを素早く正確に運転動作に反映する力）などなど、私たちに備わった認知機能が総動員される複雑な作業であることをまずよく理解しておく必要があります。どれかの機能が極端に衰えたり、組み合わせあって衰え

たりすれば、安全な自動車運転はだんだんと難しくなります。自動車運転に関連した場面の中で、認知機能の衰えを見つけるヒントやチェックシートもあるので参考にしましょう。

最近、新聞・テレビなどで「認知症と自動車運転」の話題が増えています。75歳以上の方は、認知機能の状態を評価する講習予備検査を受けることが義務付けられており、医師は何らかの認知症と診断された方が運転を続けていることを知った場合は、患者さんやご家族と自動車運転のことを話し合い、運転の中止や免許の返納に関して説明することが求められます。また、任意ではあるものの、認知症の方の運転が危険と判断した場合は、公安当局に診断の届け出を行うこともあります。自分自身の認知機能や運動機能が衰えてきた時に「私の自動車運転で、自分や人の『命』を守ることができるだろうか、自動車運転の基本は自分自身の「利便性」に固執するのではなく、自分や他者を含めた「命を守る」姿勢が何より大切ではないだろうか」と問いかけてみてください。

- ✓ 車のキーや免許証などを探し回ることが増えた。
- ✓ 曲がる際にウィンカーを出し忘れることが増えた。
- ✓ 何度も行っている場所への道順がすぐに思い出せないことが増えた。
- ✓ 車庫入れで壁やフェンスに車体をこすることが増えた。
- ✓ 駐車場所のラインや枠内に合わせて車を停めることが難しくなった。
- ✓ 急発進や急ブレーキ、急ハンドルなど、運転が荒くなった（と言われるようになった）。
- ✓ 車の汚れが気にならず、あまり洗車をしなくなった。
- ✓ 洗車道具などをきれいに整理しなくなった。
- ✓ 好きだったドライブに行く回数が減った。
- ✓ 同乗者と会話しながらの運転がしづらくなった。

以前と比べて変化したと思われる項目をチェックしてください。3つ以上の項目にチェックが入る人は要注意。病院への受診を検討してください。

出典：JAF Mate 2014年11月号 認知症は怖くないvol.2
今月のチェックテーマ ードライブ編、44ページ

【表1】浦上式運転時認知障害発見リスト

第52回 のぞみの会 大盛会！

『いつか、やっぱり 全仁会 ～未来がひろがる最新治療～』

第52回のぞみの会が11月5日(日)に開催されました。当日は天候に恵まれ、1,000名を超える多くの方にご来場いただきました。『いつか、やっぱり 全仁会 ～未来がひろがる最新治療～』をテーマに、高尾武男代表の開会挨拶で幕を開けました。

午前中の勉強会では、倉敷ニューロモデュレーションセンター長 上利崇先生に「難治性の痛みやふるえに対する神経刺激療法」、脳神経外科部長 重松秀明先生に「脳卒中の予防 一脳ドックの有用性」をテーマにそれぞれご講演いただきました。

『体験発表』では、30代の若さでパーキンソン病を罹患された患者さんに、今までの闘病生活や現在の生活状況についてお話をいただきました。今年8月勇気を持って臨んだ最新治療。「病気であっても前向きに、楽しく生きよう」のお言葉に勇気をいただきました。『教えちゃいます！私の健康法、認知症予防法』では、ローズガーデンにご入居の方の「何事もコツコツと継続することが健康法！」とのお言葉が印象的でした。

高尾聡一郎理事長『全仁会のトータルヘルスケア』について特別講演の後は、皆さんと体操でリラックスし、その後は医師紹介がありました。



グループ代表
高尾 武男

倉敷ニューロモデュレーションセンター長
上利 崇



理事長
高尾 聡一郎



脳神経外科部長
重松 秀明



午前のプログラム終了後は、美味しさはもちろんのこと、健康にも配慮した彩り豊かなお弁当&おやつで大好評でした。

午後からの『ふれあい広場』では30以上のブースがあり、企画の石鹸デコパージュ作りが大盛況でした。医療系・介護系のブースでは、参加型企画などそれぞれに趣向を凝らしており、どのブースも賑わいを見せました。毎年恒例のシールラリーは、約400名の方にご参加いただき大盛況の中、幕を閉じました。今回来場された方より「楽しかった！また来たいわ」と嬉しいお言葉をいただくこともできました。皆さんのご協力、本当にありがとうございました。



次回、第53回のぞみの会は、平成30年10月28日(日)開催予定です。ご参加を心よりお待ちしております。
のぞみの会実行委員(支援センター) 坂井田 美枝

「頭部・頸部への外傷とセカンドインパクトシンドローム」について高尾理事長が講演

11月30日(木)に倉敷市役所で行われた、倉敷市立小・中・高等学校・特別支援学校および幼稚園の教職員を対象とした保健教育講演会で、倉敷医師会の依頼により高尾理事長が「頭部・頸部への外傷とセカンドインパクトシンドローム」について講演いたしました。

セカンドインパクトとは、脳しんとうを起こした後、短期間に二度目の衝撃を受けることにより脳に重大な損傷が生じ、重篤な症状に陥ることを指します。ここ数年、柔道等の競技中にセカンドインパクトが原因で死に至るケースがあったため、受講の先生方は熱心に耳を傾けておられました。一度衝撃を受けた後は、次に衝撃を受けないよう過激な運動を控えること、そして何より迅速に脳神経外科を受診することが大切とのお話でした。

秘書・広報課



参加報告

第57回 日本定位・機能神経外科学会参加 倉敷ニューロモデュレーションセンター



1月19・20日の両日に奈良春日野国際フォーラムにて「第57回日本定位・機能神経外科学会」が開催され、上利センター長をはじめ6名が参加しました。この学会はニューロモデュレーションにおいて一番大きな学会となります。上利センター長はランチョンセミナーとシンポジウムの演者として、DBS・SCSにおける最新の治療について講演されました。さらに看護師、臨床心理士、理学療法士、臨床工学技士がそれぞれの専門分野の内容に沿った発表を実施しました。

センター開設より10カ月となり、今学会にてこれまでの成果を発表することができました。演題発表後には当院の取り組みを参考にしたいと話す先生方と情報交換を行うことや、最新の知見を勉強することができ、充実した2日間となりました。

また、この学会にて基調講演されるために来日された、スウェーデンのウメオ大学脳神経外科 ブロムステッド教授が、22日当院を視察され、上利センター長が行うDBS(脳深部刺激療法)手術の見学と意見交換がなされました。

ブロムステッド教授は、午前中のDBS手術の様子を見学されて「皆さんが大変、段取り良く、効率的にチーム医療をされている点に大変驚きました。高齢者や体力が弱っている方は全身麻酔での手術を実施することにより、より苦痛なく手術を受けることができます。世界的にはこのDBS手術は全身麻酔によって施行される場合が随分増えてきています。全身麻酔で電極の埋込術を実施することは、より侵襲性が少なく、患者さんにとっても大変よいことだと考えます」と語ってくださいました。

ブロムステッド教授は、機能的脳神経外科手術の領域では世界的に活躍されておられる方です。今後も患者さんのQOL向上に向け、倉敷平成病院、ニューロモデュレーションチーム一丸となって取り組んでまいります。

倉敷ニューロモデュレーションセンター 臨床工学課 副主任 高須賀 功喜



生活習慣病予防のための

ヘルシーレシピ

倉敷平成病院 管理栄養士 平田 沙織



オープンいなり寿司

1人分(4個分) / 601kcal、塩分2.9g

■材料(8個分)

酢飯……………250g	豚ひき肉……………40g
油揚げ……………4枚	★ { 醤油……………少々
● { だし汁……………300ml	砂糖……………少々
	卵……………2個
	グリーンピース……………20粒
醤油……………大さじ2	スモークサーモン…4枚
砂糖……………大さじ3	絹さや……………4枚



食卓の主役間違いなし♪

華やかオープンいなり寿司

いなり寿司というご飯を油揚げで包むのが一般的ですが、今回はあえて中身を見せて、具材をトッピングしたオープンいなり寿司を作りました。行事やおもてなしの一品に最適。

トッピングする具材によってバリエーションが広がりますので、ぜひお試しください。

■作り方

- ①酢飯を作る。
- ②油揚げを半分に切り、熱湯をかけて油抜きして、●の調味料で煮る。
- ③油(分量外)を引いたフライパンで豚ひき肉を炒めて、★で味付けする。卵はいり卵にする。
- ④スモークサーモンはクルクルと巻いて、花形にする。グリーンピースと絹さやはさっと茹でて、絹さやは半分に切る。
- ⑤味付けした油揚げに酢飯を詰めて、油揚げの余った部分には中に織り込む。
- ⑥⑤の上に③と④を彩りよくトッピングしてできあがり。

第30回 神経セミナー

『脳卒中治療の最前線 2017』開催

10月14日(土)にリハビリセンターにおいて、第30回神経セミナーが開催されました。今回のテーマは、『脳卒中治療の最前線2017』で、外部参加者を含め約300名が参加し、大変盛会となりました。

最初に脳卒中内科部長の芝崎先生から「当院における脳卒中診療と連携」と題した話題提供があり、脳梗塞のMR画像等を示し、症状やケース、またt-PA治療や血管内治療等の具体的な治療についてもわかりやすく説明がありました。

特別講演は、川崎医科大学 脳卒中医学教室 教授 八木田佳樹先生をお招きし、「脳梗塞急性期治療の展開」と題した講演をいただきました。八木田教授からは、①脳卒中の現状 ②脳梗塞急性期治療 ③症状と一過性脳虚血発作 ④院内発症脳卒中について、画像等を示しながらの説明で、一般の方にも理解しやすい大変丁寧な講演でした。

脳卒中はタイムリーな対応(治療)が求められるため、連携が重要であること、また患者さんが社会復帰を果たすためにはリハビリも大変重要であり、脳卒中治療には多職種がチームで関らなければならないことが理解できました。



川崎医科大学
脳卒中医学教室 教授
八木田 佳樹 先生



倉敷平成病院
脳卒中内科部長
芝崎 謙作



	診療科目	月	火	水	木	金	土
午前 8:30~12:00	神経内科	田所 功	高尾 芳樹	川上 秀史 (9時~パークinson病) 林 紗織 (9時~12時)	田所 功	高尾 芳樹	
	脳神経外科	高尾聡一郎	鈴木 健二 篠山 英道	【手術】	高尾聡一郎 重松 秀明	篠山 英道	担当医
	脳卒中内科	芝崎 謙作				芝崎 謙作	
	内科	小崎佐恵子	小崎佐恵子	都築 昌之	神坂 恭	都築 昌之	
	消化器科	都築 昌之	北川 真之		西紋 禮士	太田 恭子	山本晋一郎(9時~11時)
	呼吸器科		矢木 真一(予約制)	沖田 理貴		矢木 真一(予約制)	担当医(第2・4・5週)
	循環器科	伊東 政敏	伊東 政敏	山田亮太郎	伊東 政敏	伊東 政敏	笠原 真悟(休診9~12時)
	整形外科	平川 訓己 高田 逸朗 (9時~12時30分)	平川 宏之 松尾 真二 中西 一夫 (第1・3・5週 9時~) 脊椎専門外来	平川 訓己 高田 逸朗	松尾 真二 平川 宏之	平川 訓己	平川 宏之(第1・3・5週) 松尾 真二(第2・4週) 担当医
	耳鼻咽喉科	與田 茂利	森 幸威	福島 久毅	増田 勝巳	森 幸威	
	皮膚科	嶋田 八恵	嶋田 八恵	嶋田 八恵	嶋田 八恵	嶋田 八恵	
新患・初診・ 予約外受付 (8:00~11:00)	形成外科	廣瀬 雅史		廣瀬 雅史	フットケア外来 廣瀬 雅史 (生活習慣病センター)	廣瀬 雅史	石田 泰久
	眼科	田中 美和(第1・3・5週) 井東(第2・4週)	石口奈世理	石口奈世理	石口奈世理	石口奈世理	小野 貴暁(第2・4週) 石口奈世理(第3週)
	歯科	大野麻里奈 白井 肇	大野麻里奈	大野麻里奈	大野麻里奈	大野麻里奈	大野麻里奈
	専門外来		神経難病(予約制) 阿部 康二 (第1・3週 14時~16時)	パーキンソン病 高尾 芳樹 (14時~16時)			
	脳神経外科	重松 秀明 (14時~17時)		杉生 憲志 (第4週 14時~17時)			
	脳卒中内科				芝崎 謙作		
	総合診療科			高尾聡一郎			
	内科	小崎佐恵子 (13時30分~16時) (受付/13時~15時)					
	消化器科		岡田 敏正		松本 啓志 (13時~16時)	ピロリ菌外来(予約制) 井上 和彦	
	消化器外科				上野 富雄		
午後 13:30~17:00	呼吸器科			沖田 理貴	矢木 真一(予約制)		
	循環器科			山田亮太郎	神坂 恭		
	整形外科		【手術】	スポーツ外来(予約制) 平川 宏之 (14時~18時)	【手術】		
	耳鼻咽喉科	森 幸威 (14時~18時) (受付/13時~17時)	森 幸威 (14時~18時) (受付/13時~17時)	増田 勝巳	森 幸威 (14時~18時) (受付/13時~17時)	森 幸威 (14時~18時) (受付/13時~17時)	
	皮膚科	嶋田 八恵	嶋田 八恵	嶋田 八恵	嶋田 八恵 (13時30分~16時) (受付/13時~15時30分)	嶋田 八恵	
	和漢診療科		青山 雅(第2・4週)		都築 昌之(第2・4週)		
	形成外科				創傷外来(予約制) 廣瀬 雅史		
	リハビリテーション科	担当医					
	眼科	【検査】	石口奈世理(予約制)	石口奈世理(予約制~16時)	石口奈世理(予約制)	石口奈世理(予約制)	
	歯科	大野麻里奈 白井 肇	大野麻里奈	大野麻里奈 浅海 淳一(第3週) 此内 浩信	大野麻里奈	大野麻里奈	

休 診

◎新患及び各科の初診受付は診察終了時間の1時間前までです。◎第1・3火 14時~16時で阿部康二先生(岡大神経内科教授)が診察しています(予約制)。◎当院は麻酔科医(和田聡医師)が常勤です。

総合美容センター【倉敷平成病院1階】いろいろ 予約制 ☎086-427-1616

	診療科目	月	火	水	木	金	土
午前 9:00~12:00 (受付/8:30~11:30)	婦人科	太田 郁子	太田 郁子	太田 郁子	太田 郁子	太田 郁子	太田 郁子 太田 啓明
	乳腺外科		澤田 祐香 (第1・3・5週) (受付/8時30分~11時)				
午後 13:00~17:00 (受付/12:30~16:00)	婦人科	太田 郁子	太田 郁子		太田 郁子		
	乳腺外科	岸野 瑛美 (乳癌甲状腺外科 13時~16時30分)			山下 哲正 (乳癌甲状腺外科)	齋藤 互 (乳癌甲状腺外科)	
10:00~19:00 (受付/8:30~18:30)	美容・形成外科	華山 博美 (16時30分~19時)	華山 博美	華山 博美	(~17時まで)	華山 博美	華山 博美

◎美容・形成外科で14時~16時30分は予約のレーザー・手術となります。◎木曜日は17時までの診療です。

認知症疾患医療センター

【倉敷平成病院1階】

予約制 ☎086-427-3535

診療科目/もの忘れ外来	
午前/8:30~12:00 (受付/8:00~11:30)	
初診	再診
月	林 紗織 (9時~12時) 浦谷 陽介 (完全予約制)
火	田所 功
水	浦谷 陽介
木	高尾 芳樹
金	浦谷 陽介
土	高尾芳樹(第1週) 浦谷陽介(第2・4週) 田所 功(第3週)
	休 診

◎ご相談は、月曜日~金曜日 8時30分~17時、土曜日 8時30分~12時です。

倉敷生活習慣病センター

【倉敷平成病院2階】

予約制 ☎086-427-0120

診療科目/糖尿病・代謝内科	
午前/8:30~12:30 (受付/8:00~12:00)	
月	青山 雅
火	青山 雅(第2・4週)
水	青山 雅
木	青山 雅
金	青山 雅
土	【予約診療】(第2・4週)

倉敷ニューロモデュレーションセンター

【倉敷平成病院1階】

予約制 ☎086-427-1111

診療科目/脳神経外科	
午前/9:00~10:00 (受付/8:00~9:00)	午後/14:00~17:00 (受付/13:00~16:30)
初診	再診
月	【手術】
火	上利 崇
水	上利 崇
木	【手術】
金	上利 崇
土	上利 崇

もの忘れフォーラム

- 3月3日(土) 13:15~16:00
- ぐらしき健康福祉プラザ 5階プラザホール(倉敷市笹沖180)
- 2月17日(土)までに要申込
- お問い合わせ
電話: 086-427-3535
倉敷平成病院認知症疾患医療センターまで

院内コンサート開催

- 3月26日(月)
- 10時30分~11時
- (もの忘れ) 外来待合にて
- 倉敷アカデミーアンサンブル



全仁会グループ

倉敷平成病院
内科・神経内科・脳神経外科・脳卒中内科・整形外科・消化器科・循環器科・呼吸器科・耳鼻咽喉科・形成外科・皮膚科・眼科・総合診療科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科・和漢診療科・歯科

倉敷ニューロモデュレーションセンター
脳神経外科

倉敷生活習慣病センター 糖尿病・代謝内科

総合美容センター
美容外科・形成外科・婦人科・乳腺外科

認知症疾患医療センター

平成脳ドックセンター

倉敷老健
倉敷市老松町4-3-38
TEL.086-427-1111
FAX.086-427-8001

救急病院 24時間対応

倉敷在宅総合ケアセンター
●訪問看護ステーション・ホームヘルプステーション
●ショートステイ・通所リハビリセンター・予防リハビリセンター
●ケアプラン室・高齢者支援センター・ヘイセイ鍼灸治療院
倉敷市老松町4-4-7 TEL.086-427-0110

複合型介護施設 ピースガーデン倉敷
●地域密着型特別養護老人ホーム
●ショートステイ・グループホーム・デイサービス
倉敷市白楽町40 TEL.086-423-2000

平成南町クリニック
倉敷市南町4-38 TEL.086-434-1122

住宅型有料老人ホーム ローズガーデン倉敷
●ヘルプステーション
倉敷市南町4-38 TEL.086-435-2111

サービス付き高齢者向け住宅 グランドガーデン南町
●南町ケアプラン室・ヘルプステーション南町・よくなるデイ南町
倉敷市南町11-12 TEL.086-435-2234

ケアハウス ドリームガーデン倉敷
●デイサービス
倉敷市八軒屋275 TEL.086-430-1111